

# まん延防止等重点措置の 延長要請について

令和4年2月17日

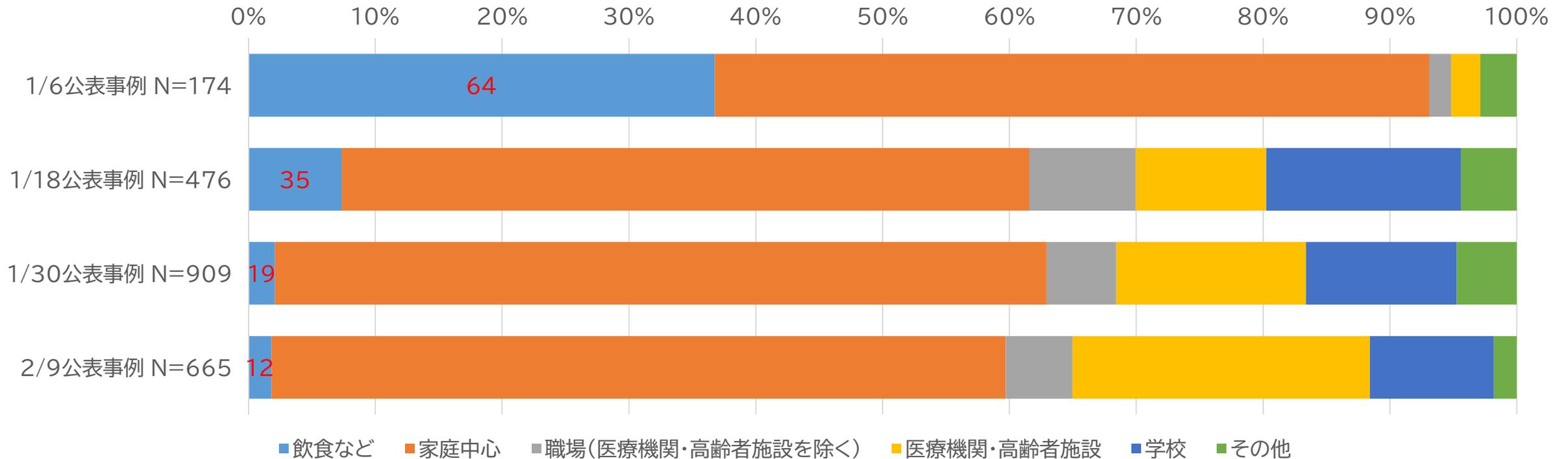
# これまでの対策の効果

かつてない感染力と感染スピードによる急激な感染拡大  
 ⇒早く強い対策(外出半減・飲食店への時短と酒類提供停止)を開始



## 飲食の感染経路が減少

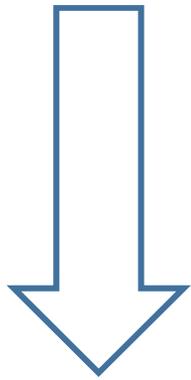
推定感染経路(判明例のみ)



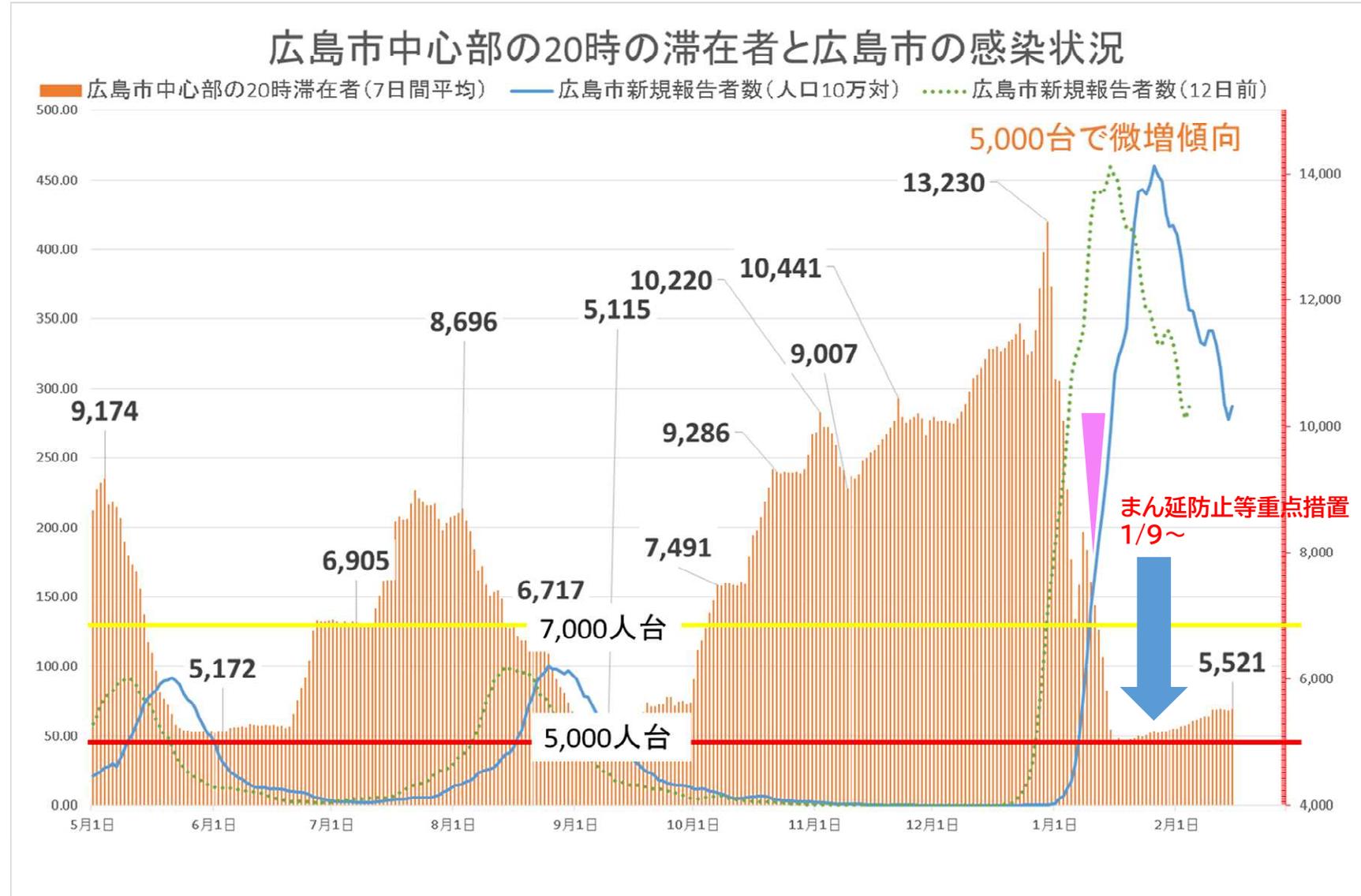
# これまでの対策の効果

**早く強い対策**

外出半減,  
飲食店への時短と酒類提供停止等  
を開始

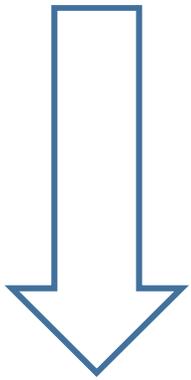


夜間の人出  
緊急事態宣言時並みに減少

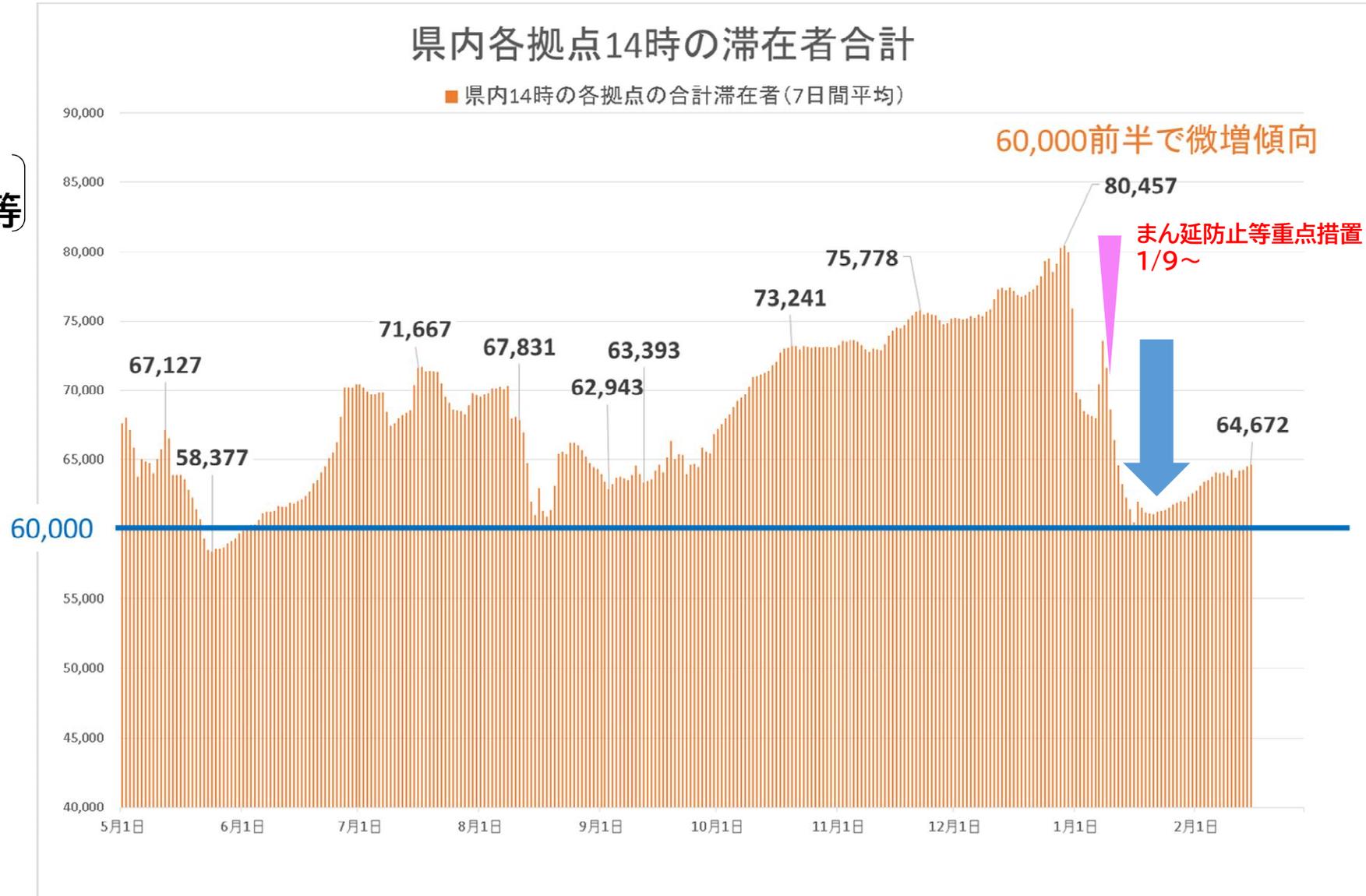


# これまでの対策の効果

早く強い対策  
外出半減,  
〔飲食店への時短と酒類提供停止等〕  
を開始

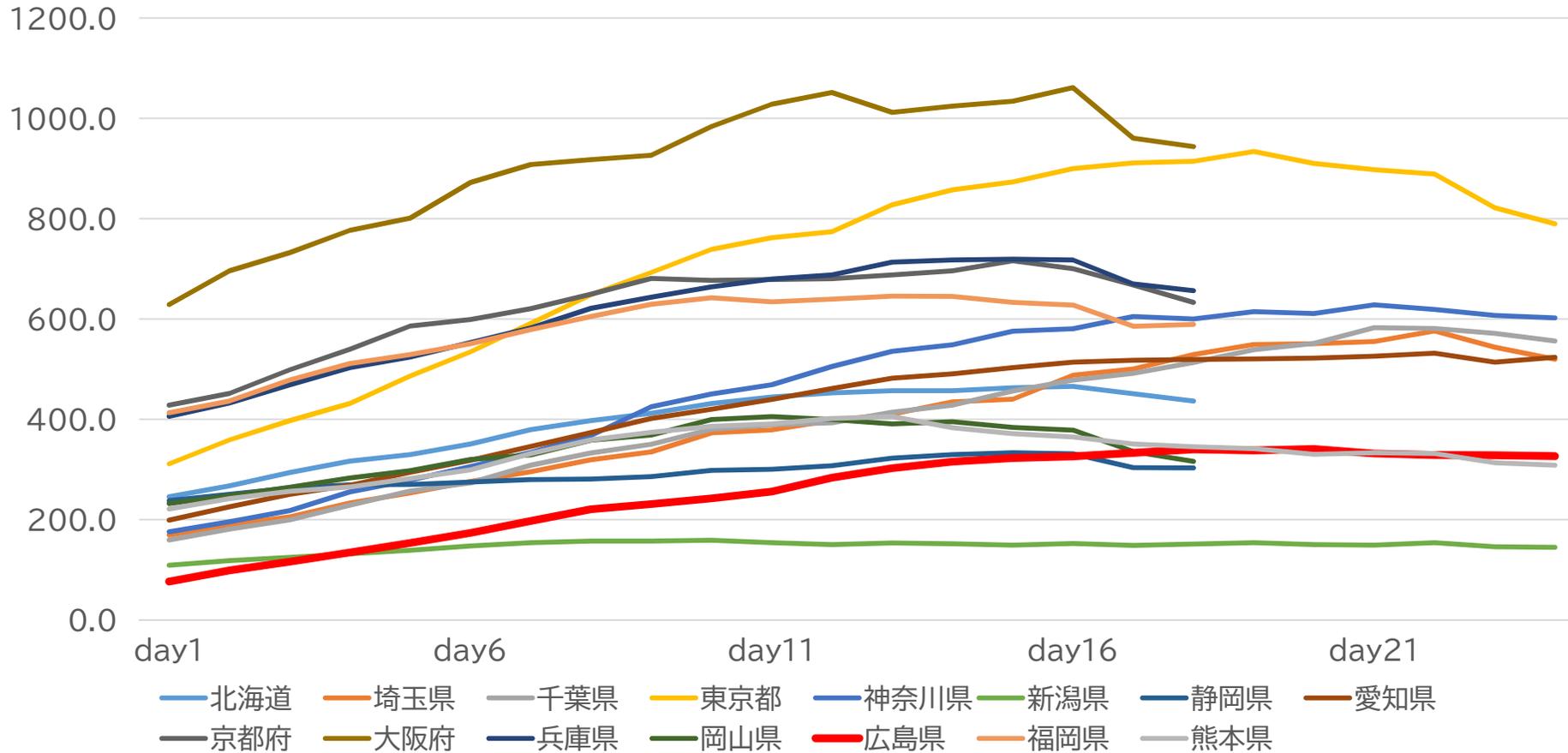


昼間の人出  
緊急事態宣言時並みに減少



# これまでの対策の効果

直近1週間の人口10万人あたりの新規報告数(2/13時点)



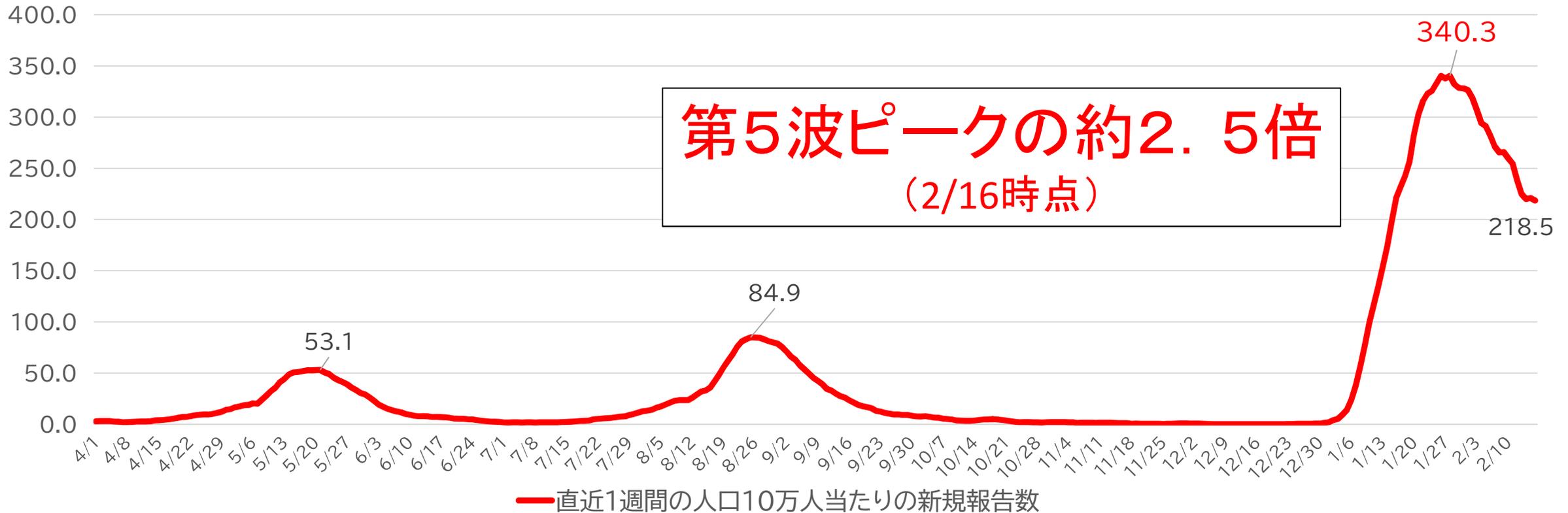
	ピーク (2/13時点)
大阪府	1,061
東京都	934
兵庫県	719
京都府	716
福岡県	646
神奈川県	629
千葉県	583
埼玉県	577
愛知県	532
北海道	466
熊本県	406
岡山県	406
広島県	340
静岡県	333
新潟県	159

※まん延防止等重点措置適用日をday1とし、day24まで掲載  
 ※同措置適用で政令指定都市のある道府県と東京都

早く強い対策と皆様の行動により、他県に比べると感染は比較的低く抑えられた

# 本県の感染状況

直近1週間の人口10万人あたりの新規報告数



**しかし、依然として高い感染状況が続く  
病床使用率も緊急フェーズ※にて50%を超えている**

※ 緊急フェーズ：一般医療の一部制限が必要となった場合の確保病床数  
一般フェーズ：一般医療と両立可能な範囲での確保病床数

# 県内の感染状況

直近1週間の人口10万人あたりの新規報告数(2/16時点)

	安芸太田町	北広島町	安芸高田市	三次市	庄原市	
	65.07	340.06	161.50			
廿日市市	広島市	府中町	東広島市			神石高原町
		191.57		345.03	129.05	527.85
		熊野町		世羅町	府中市	福山市
226.50	283.44	163.05	198.94	217.77	48.72	
大竹市	海田町	呉市	竹原市	三原市	尾道市	
104.48	218.54	164.86	67.73	196.56	76.47	146.70
	坂町					
	108.53	江田島市	大崎上島町			
		174.43	187.87			

- 150人以上
- 100~150人未満
- 15~100人未満

県内全体でも、高い感染状況

## まん延防止等重点措置 延長を要請

減少傾向であるが、県内ではまだ高い感染状況  
病床使用率も一般医療に制限のかかる状態で50%を超えている



# 国へまん延防止等重点措置延長を要請

《国への要請内容》

期 間：一般医療と両立可能な範囲で病床運用できる低い感染レベルになるまで

エリア：県内全域

# 今後の方針について

## <考え方>

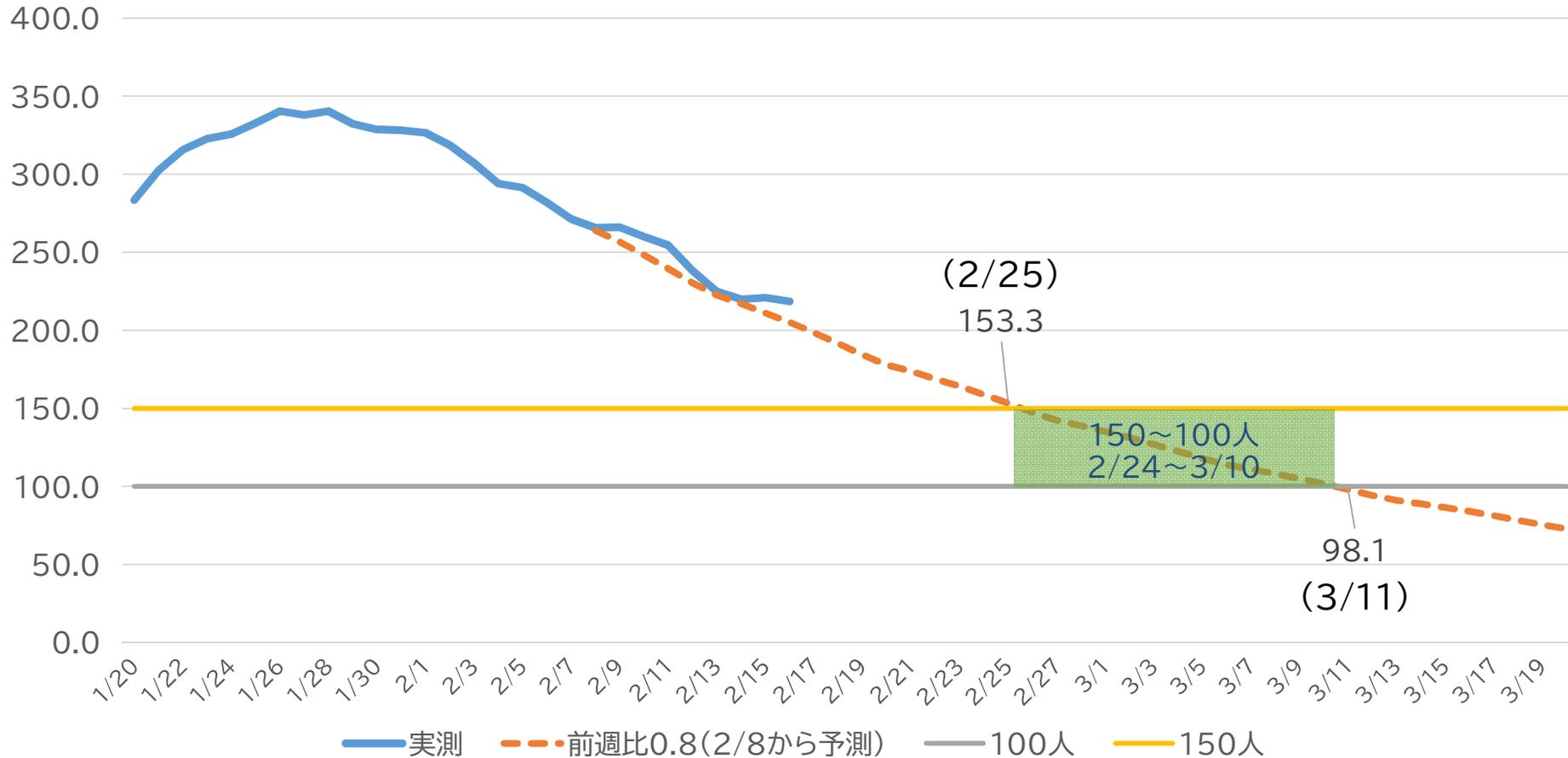
- |   | 一般医療と両立可能な<br>範囲での確保病床数 |
|---|-------------------------|
| ① 最大確保病床の全てを運用する状況では、一般医療との両立には制約が生じる。                            | 593床                    |
| ② 病床が逼迫しないよう、病床使用率は50%を下回ることが望ましい。<br>〔593床×50%〕                  | 約297床                   |
| ③ 入院日数の平均(11日)で回転すると想定し、1日当たりの入院数を算出<br>〔297床÷11日〕                | 約27床/日                  |
| ④ 入院率5% (安全サイド)と仮定して、1日当たりの新規感染者数を算出<br>〔27床÷5%〕                  | 約540人/日                 |
| ⑤ 直近1週間の人口10万人あたりの新規報告数で換算<br>〔540人×7日÷280万人(10万人あたりなので28で除している)〕 | 約135人                   |
| ⑥ 解除しても再拡大しないこと   |                         |

**水準** 直近1週間の新規報告数(対10万人) 100~150人  
 (+⑥解除しても再拡大しないこと)

# 今後の感染のシミュレーション

直近1週間の  
人口10万人あたりの  
新規報告数

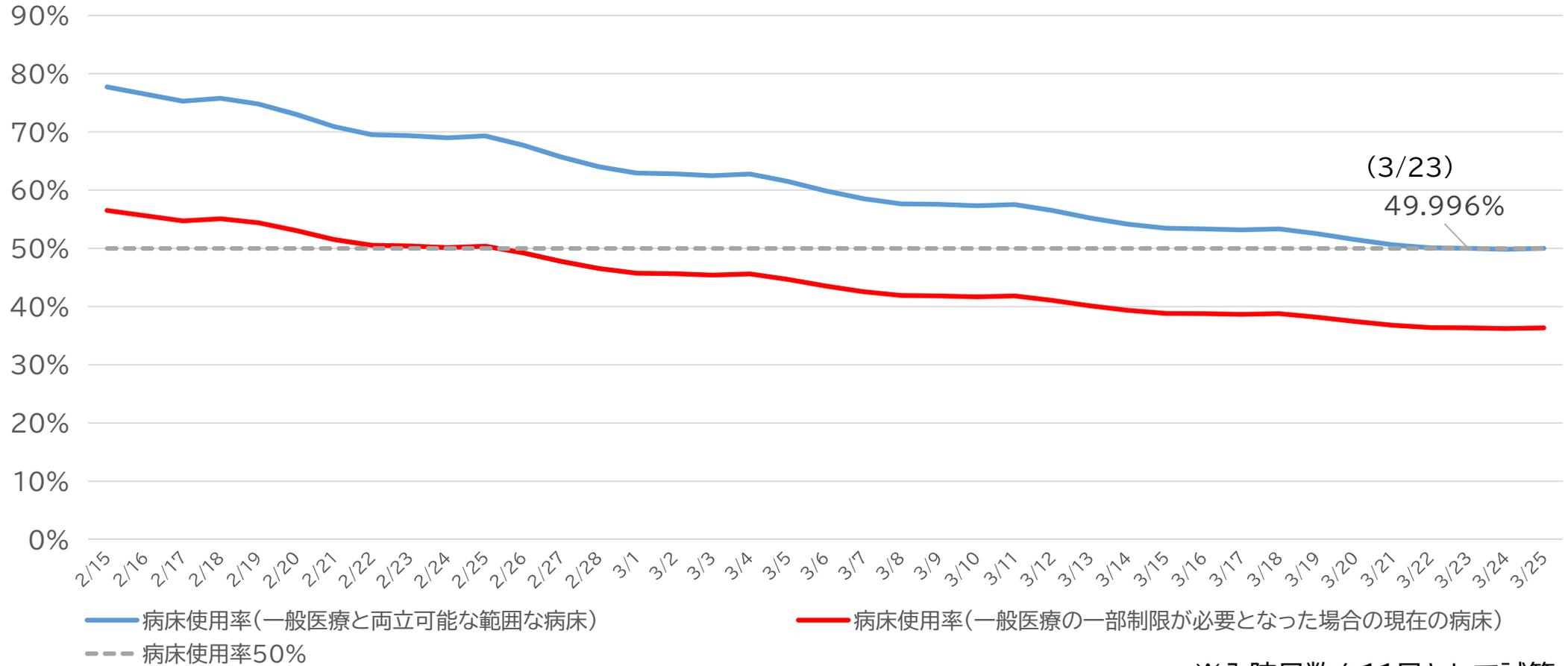
## 新規報告数と直近1週間人口10万人当たりの新規報告数



このまま減少を続け, 再拡大がなければ, 3月上旬には水準に達する見込み

# 今後の病床のシミュレーション

## 確保病床使用率



※入院日数を11日として試算

**3月下旬には、一般医療との両立が可能なフェーズで病床使用率50%を下回る見込み**

## 今後の対応の方向性

○ 時短要請は継続し、認証店への“酒類提供停止”要請を解除

(認証店は20時までの時短(酒類提供無し)か21時までの時短(酒類提供20時まで)の選択制)

○ 外出についても“半減”から“できるだけ削減”に

- ・ 減少局面に移行し、今後再拡大しなければ医療提供体制を維持できるレベルまで感染状況が改善していく方向にあると推定されるので、経済活動も状況を見ながら再開
- ・ 一方で飲食関連の感染が増えたり、全体の感染状況が下がらない状況になれば、再度強い対策(酒類提供停止・外出半減)を検討する